

公益社団法人 日本経営工学会  
第 33 期第 12 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 5 月 13 日（土） 15:00～18:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、  
齋藤文、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎  
（監事）高橋勝彦、後藤正幸

欠席者：（理事）篠田心治、岩崎昭、小西昭士

### 議決事項

#### 1. 第 33 期第 11 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料：1-1)に基づき、第 33 期第 11 回理事会議事録(案)が提示され、全会一致で承認された。

#### 2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料：1-2)に基づき、5 月 13 日時点で 15 名の正会員入会申請、9 名の学生会員の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、過去の退会者の再入会申請が報告され、全会一致で承認された。入会者の傾向としては、紹介者経由が多いことが併せて報告された。

加えて、過去に会員資格を喪失した会員から復活申請があり、復帰可否について後述の協議事項 1「会員規則の改定について」で協議し承認されたことに伴い、改定の内容に沿う形で会員資格の復活を許諾することが全会一致で承認された。

その他、優秀学生賞受賞の学生は、概ね大学院に進学していることから学生会員のステータスであると想定されるが、資料上、正会員として記載されていることについて、所属と会員ステータスを改めて確認することとした。

#### 3. 平成 29 年度事業計画および収支予算の方針に関する会員周知の件

庶務担当理事より、(資料：1-3)に基づき、平成 29 年度事業計画および収支予算の方針に関する会員周知が報告され、全会一致で承認された。

なお、本資料は 5 月 27 日の総会の報告事項における別紙資料として、当日に配布することとした。

#### 4. 総会資料の件

庶務担当理事より、(資料：1-4)に基づき、5 月 27 日の総会資料の報告があり、全会一致で承認された。

## 協議事項

### 1. 会員規則の改定の件

会員担当理事より、(資料:1-5)に基づき、会員規則第4条2項に関して、会費未納を理由に資格を喪失した元正会員・学生会員・賛助会員の会員資格復活条件の改定案が提示され、全会一致で承認された。

なお、本内容は会員資格復活条件を緩和するものであるが、復活・未納を繰り返すことで都合よく利用されるリスクもあるため、本改定案を常用するケースが発生した場合、別途検討することとした。

また、会員規則第10条に関して、個人情報保護の観点及び実運用に即して、会員情報利用に関する条項変更案が提示され、「別途定められるルールに従い」の文言を「別途理事会で定めるルールに従い」に変更することを前提に全会一致で承認された。加えて、適切な申請者からの申請を確実にするため、「会員名簿の情報提供申請書」に申請者は担当理事に限定する旨を補記することとした。

同規則の定めに従い、本件については総会に付議することとする。

## 報告事項

### 1. 退会について

会員担当理事より、(資料：1-2)に基づき、3月末日時点で正会員 38 名、学生会員 33 名、の退会の報告がされた。退会理由として、正会員は「高齢を理由とした研究活動の終了」、学生は「卒業」が主だったものと報告された。

### 2. 2016(H28)年度予実算報告について

財務担当理事より、(資料：1-6)に基づき、5月4日にメール審議、承認した 2016(H28)年度予実算について報告された。最終的に予算を超えた科目もあることから、予算厳守に向けた方法検討を次期財務担当理事への引き継ぎ事項とすることとした。

また、事務局への委託費用の削減に向けて、事務局との契約単価を担当理事間で共有することとし、本事項は次期庶務担当理事への引継ぎ事項とすることとした。

### 3. 第 33 期第 10 回「国際渉外委員会」理事会について

国際渉外担当理事より、(資料 1-7)に基づき、協賛行事、国際会議情報の公開サービス状況について報告があった。加えて、4月25日に FMES 代表者会議が開催され、会費が現状のまま維持される件、基準協会の審査と JABEE の審査が将来一本化される可能性がある件、次年度の事務局を品質管理学会が継続する件の報告があった。また、本年度 JIMA が主催する FMES シンポジウムを秋季大会と同時開催とすることを報告した際、今後もシンポジウムを学会の大会と同時開催とするのか否か等、シンポジウムの在り方を検討する必要があり、会長懇談会等で議論していきたいとの意見があったことが紹介された。

その他、横幹連合よりカンファレンス等への参加依頼があった。本件も含め、今後 JIMA としての横幹連合とのかかわり方について、次期理事会にて継続して検討する必要があると報告された。最後に JABEE 審査員への JIMA からの選出についても対応が難しくなってきた現状があり、今後は見直しも視野に入れる必要があることが報告された。

#### 4. 掲載料・別冊代請求一覧について

編集（論文誌）担当理事より、（資料1-8）に基づき、掲載料・別冊代請求について報告がされた。

なお、本内容は編集（論文誌）担当理事にてこれまで通り確認するが、理事会報告は支払いが大幅に遅延した場合のみ報告することとし、本方針を次期編集（論文誌）担当理事に引き継ぐことにした。

#### 5. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず河野会長からは、次期会長に直接面会し引継ぎを行うとともに、産学連携研究交流会や日本技術士会等との連携活動を継続実施した旨の報告があった。次に二ノ宮副会長からは、平成28年度決算の取り纏め及び確定を実施した旨の報告があった。最後に外館副会長から、産学連携研究交流会の第3分科会・第4分科会の実施に向けての検討、並びに秋季大会での関連セッション開催に向けての検討を実施した旨の報告がなされた。

本議事録は理事会運営細則の定めに従ってメール審議を実施し、第33期役員全員の承認を得たことをここに記す。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印